

1983年6月阿蘇カルデラ北部に発生した群発地震*

京都大学理学部附属火山研究施設

序

1983年6月9日から、阿蘇カルデラ北部で群発地震が発生した。阿蘇山測候所では震度Iを2回記録した(6月12日10時04分及び13日22時26分)のみで、規模の大きい地震は発生しなかった。しかし、9日12時のNHK全国ニュースで報道されたこともあり、全国的に注目された。この地震群は阿蘇中岳から10数km離れた位置に震源があり、中岳の火山活動とは直接関係しない地震群であった。

活動の経過

京都大学理学部附属火山研究施設の阿蘇カルデラ周辺に設置してある広域地震観測ネットで観測した地震群は400を越える。(Fig. 1, Fig. 2)しかし、Magnitude 3以上の地震はごく僅かであった。

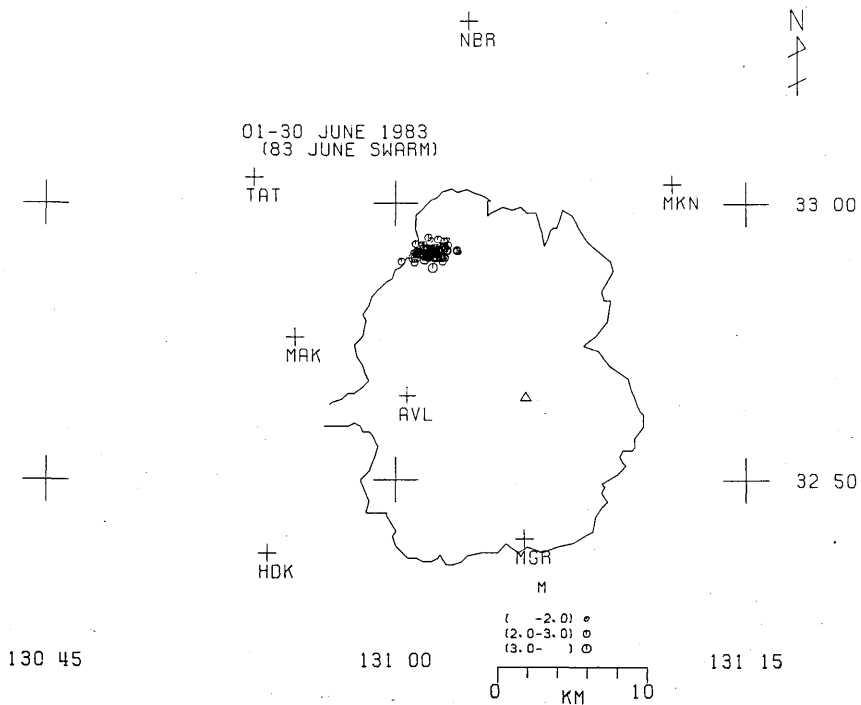


Fig.1. 1983年6月の群発地震の震央分布

+ 観測点 ○ 震央 △ 阿蘇中岳火口

Fig.1. Epicenters of June 1983 Earthquake swarm

+ Observed Point. ○ Epicenter

△ Crater of Aso Naka-dake

* Received Dec. 2, 1983

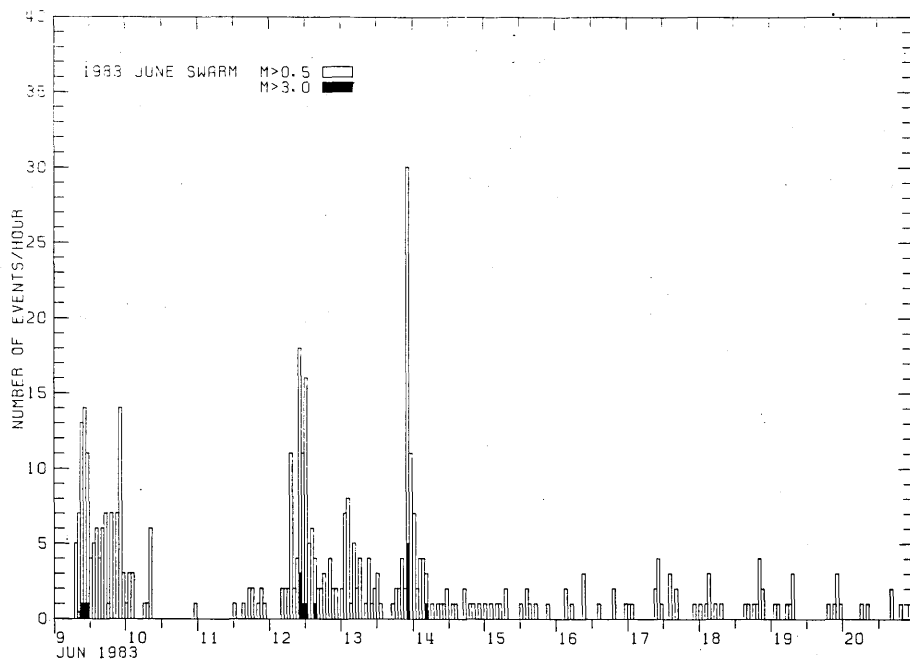


Fig. 2 群発地震活動

Fig. 2. Activity of an earthquake swarm

地震活動は、Fig. 2に示す様に、6月9日及び12日～13日にそのピークがあり、6月20日には終息した。

震源位置

広域地震観測ネットで決定された、震央位置及び震源の深さは、Fig. 1及び Fig. 3に示してある。震源は阿蘇カルデラ北部の阿蘇町内牧温泉付近のカプト岩付近に集中しており、移動することは無かった。

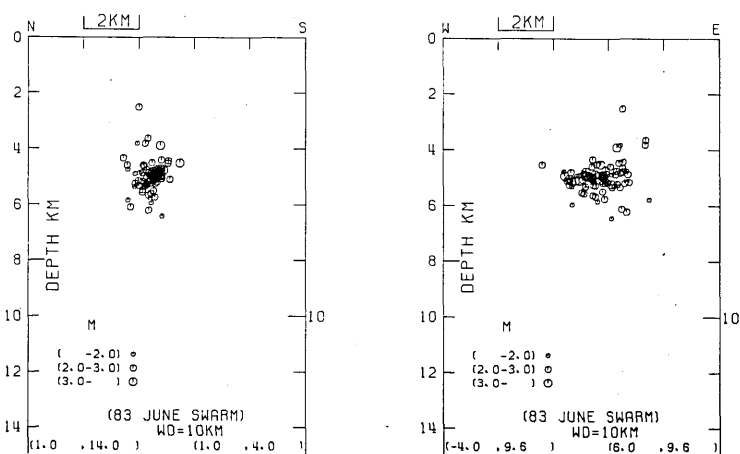


Fig. 3 震源の深さ分布

Fig. 3. Depth of foci

考 察

この群発地震は、阿蘇カルデラ北部及び西部で発生している一連の地震群であり、今回は特に、内牧温泉付近で10～20回程度有感（震度Ⅰ程度）であったため注目された。地震群の震源は全く移動せず、阿蘇中岳の火山活動とは直接関係しないものと判断された。

尚、6月12日12時福岡管区气象台から地震情報がこの群発地震について発表された。

参 考 文 献

須藤靖明（1983）：1983年6月阿蘇カルデラ北部地域の群発地震活動。1983年10月日本火山学会秋季大会にて発表。